



会社名 J.フロント リテイリング株式会社  
 コード番号 3086  
 代表者名 代表取締役社長 山本 良一  
 お問合せ先 経営戦略統括部  
 グループ広報・IR担当  
 TEL 03-6895-0178

**2014年7月度 J.フロント リテイリング 連結営業報告**

1. セグメント別売上高（対前年増減率：％）

|         | 7月度            | 3～7月度累計       |
|---------|----------------|---------------|
| 百貨店事業   | ▲ 3.1 ( ▲2.9 ) | ▲ 1.8 ( 1.3 ) |
| パルコ事業   | ▲ 1.9          | 1.8           |
| 卸売事業    | ▲ 14.1         | ▲ 6.4         |
| クレジット事業 | 18.2           | 19.9          |
| その他事業   | 17.8           | 10.9          |
| 連結合計    | ▲ 2.2          | 0.0           |

(注)百貨店事業合計の( )内は、松坂屋銀座店(銀座再開発・建替えのため2013年6月30日営業終了)を除く既存店ベース。

2. 売上高概況

1) 百貨店事業

- ・7月度の百貨店事業の売上高は、前年より梅雨明けが遅れたことによる降雨日数増や台風の影響により、月前半のクリアランスセールは低調に推移したものの、中旬以降衣料品を中心に売上が顕著に回復したことから、大丸松坂屋百貨店合計では対前年▲2.6%減、関係百貨店を含めた百貨店事業合計では同▲2.9%減となり、前月よりもさらにマイナス幅を縮小させた。

2) パルコ事業

- ・前年より遅い梅雨明けや大型台風など悪天候の影響により、月前半のセールは苦戦したものの、中旬以降は好天が続き、カフェなどの飲食が猛暑による影響で好調だったほか、秋色夏素材商品を始めとする衣料品を中心に売上が前年を上回る基調で推移したことにより、パルコ事業は対前年▲1.9%減となった。

3) その他

- ・卸売事業の大丸興業は、化学品が売上を伸ばしたものの、食品やホームセンター向け商材などが苦戦し、対前年▲14.1%減となった。
- ・クレジット事業のJFRカードは、大丸松坂屋百貨店のお得意様ゴールドカードのクレジット化による手数料収入の増加などが寄与し、対前年18.2%増となった。
- ・その他事業は、グループ外の内装工事の売上計上により大幅増となったJ.フロント建装が牽引した。

|       |                   |              |
|-------|-------------------|--------------|
| お問合せ先 | J.フロント リテイリング株式会社 | グループ広報・IR担当  |
|       | TEL               | 03-6895-0178 |
|       | FAX               | 03-6674-7565 |

## 2014年7月度 百貨店事業 営業報告

### 1. 売上高および入店客数（対前年増減率：％）

|                   | 7月度         |             | 3～7月度累計    |             |
|-------------------|-------------|-------------|------------|-------------|
|                   | 売上高         | 入店客数        | 売上高        | 入店客数        |
| 大丸 心齋橋店           | ▲10.5       | ▲1.7        | ▲0.5       | ▲1.9        |
| 大丸 梅田店            | 7.5         | ▲0.9        | 2.3        | ▲1.8        |
| 大丸 東京店            | 2.5         | ▲0.2        | 6.1        | 0.2         |
| 大丸 浦和パルコ店         | ▲5.3        | ▲1.6        | ▲4.0       | ▲1.1        |
| 大丸 京都店            | ▲0.8        | 1.8         | 2.7        | 0.4         |
| 大丸 山科店            | ▲0.5        | ▲4.9        | ▲2.8       | ▲5.0        |
| 大丸 神戸店            | ▲4.9        | ▲2.6        | 3.5        | ▲1.2        |
| 大丸 須磨店            | ▲6.0        | ▲5.0        | ▲3.5       | ▲2.5        |
| 大丸 芦屋店            | ▲3.6        | ▲1.7        | ▲2.5       | ▲0.3        |
| 大丸 札幌店            | ▲1.7        | ▲4.2        | 0.5        | ▲5.6        |
| 松坂屋 名古屋店          | 0.1         | ▲5.4        | 3.5        | ▲5.3        |
| 松坂屋 上野店           | ▲10.1       | ▲17.4       | ▲7.3       | ▲9.4        |
| 松坂屋 静岡店           | ▲4.2        | 6.7         | 2.3        | 7.3         |
| 松坂屋 高槻店           | ▲1.3        | ▲5.4        | ▲0.5       | ▲2.3        |
| 松坂屋 豊田店           | ▲4.7        | ▲2.3        | ▲1.8       | 0.9         |
| <b>大丸松坂屋百貨店合計</b> | <b>▲2.6</b> | <b>▲2.5</b> | <b>1.5</b> | <b>▲2.1</b> |
| 博多大丸              | ▲5.6        | ▲6.5        | 0.3        | ▲3.2        |
| 下関大丸              | ▲5.4        | 2.6         | ▲3.0       | 4.2         |
| 高知大丸              | ▲5.0        | ▲5.2        | ▲3.6       | ▲4.0        |
| <b>百貨店事業合計</b>    | <b>▲2.9</b> | <b>▲2.6</b> | <b>1.3</b> | <b>▲2.0</b> |

(注)合計は、松坂屋銀座店(銀座再開発・建替えのため2013年6月30日営業終了)を除く既存店ベース。

前年に松坂屋銀座店を含めた7月度売上高の対前年増減率は、大丸松坂屋百貨店合計 対前年▲2.8%減、百貨店事業合計 同▲3.1%減。

前年に松坂屋銀座店を含めた3～7月度累計売上高の対前年増減率は、大丸松坂屋百貨店合計 対前年▲1.9%減、百貨店事業合計 同▲1.8%減。

### 2. 大丸松坂屋百貨店 商品別売上高（対前年増減率：％）

|           | 7月度   | 3～7月度累計 |
|-----------|-------|---------|
| 紳士服・洋品    | ▲0.4  | ▲0.2    |
| 婦人服・洋品    | ▲5.3  | 1.7     |
| 子供服・洋品    | 4.1   | 2.7     |
| その他の衣料品   | ▲9.3  | 1.6     |
| 衣料品計      | ▲4.3  | 1.4     |
| 身回品       | ▲6.2  | 0.5     |
| 化粧品       | ▲0.5  | 7.6     |
| 美術・宝飾・貴金属 | ▲8.8  | 2.3     |
| その他雑貨     | 46.8  | 22.6    |
| 雑貨計       | ▲1.6  | 6.0     |
| 家具        | ▲11.3 | 13.1    |
| 家電        | ▲17.8 | ▲9.3    |
| その他の家庭用品  | 1.1   | 3.5     |
| 家庭用品計     | ▲2.5  | 5.0     |
| 生鮮        | ▲2.6  | ▲2.5    |
| 菓子        | 0.1   | 1.2     |
| 惣菜        | ▲0.2  | 1.8     |
| その他食料品    | ▲4.2  | ▲1.2    |
| 食料品計      | ▲2.0  | 0.1     |
| 食堂・喫茶     | ▲2.5  | ▲4.8    |
| サービス      | ▲9.0  | ▲5.9    |
| その他       | 15.6  | 2.3     |
| 合計        | ▲2.6  | 1.5     |

(注)松坂屋銀座店(銀座再開発・建替えのため2013年6月30日営業終了)を除く既存店ベース。

### 3. 売上高概況

婦人服・洋品は、中旬以降はスカート、ワンピースなど夏物衣料が活発に動いたものの、上旬の天候要因が響いた。紳士服・洋品は、スーツなどビジネスウェアがよく動き、ほぼ前年並みまで回復した。身回品は、かばん・旅行用品が売上を伸ばしたものの、婦人靴などが苦戦した。雑貨は、美術品が前年を上回ったことに加え、化粧品も前年並みまで回復したことから、マイナス幅は前月よりさらに縮小した。食品は、洋菓子が好調であった菓子が前年を上回った。なお3～7月度累計の商品別売上高増減率は、ほとんどの部門でプラスとなった。